

令和6年度 全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果について

○種目…握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

5年生を対象とした「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」の令和6年度の本校の結果についてお知らせいたします。

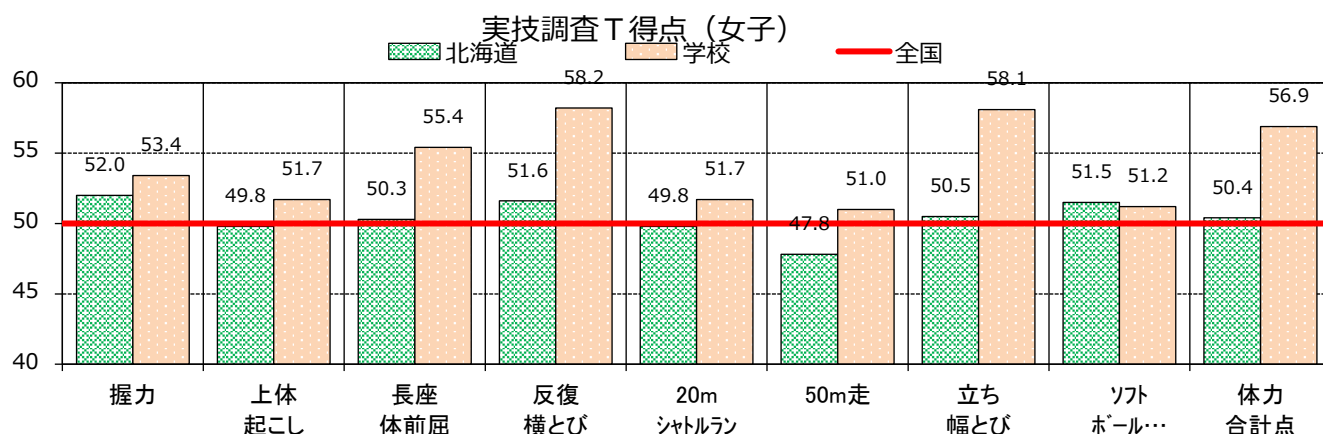
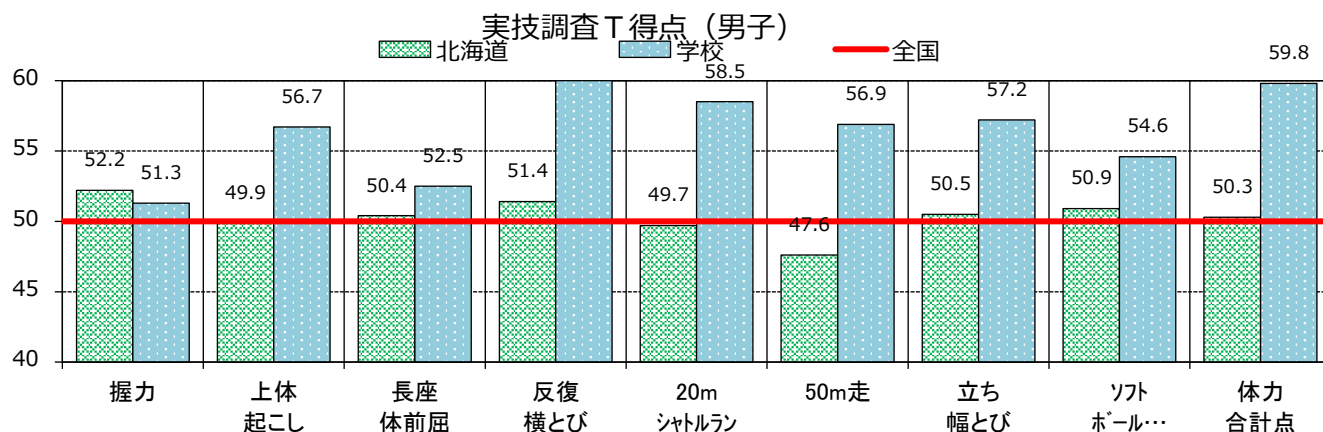
男子、女子ともに、8種目全てにおいて全国平均を上回る結果となりました。



「児童質問紙」からは、「朝食を毎日食べている」「毎日 8 時間以上寝ている」と回答した児童の割合が男女ともに全国より多く、「平日、学習以外でテレビやスマートフォン、ゲーム機などの画面を見ている時間が 2 時間以上」の割合が男女ともに全国より少ないということがわかりました。家庭でのお子さんへのはたらきかけや、児童が自ら考えて生活のリズムを整えている様子が見られます。さらに、「体育の授業に進んで学習に参加している」「保健の授業で学習した運動、食事、休養および睡眠に気をつけた生活を送れている」と回答した児童の割合が男女ともに全国より多いことや、授業の最後の振り返りによって「できたり、わかったり」することがあると回答した割合が多いことから、体育科の授業改善の成果が少しずつ表れていることがうかがえます。

一方で、男女で回答に大きな違いが見られた項目もありました。「1 週間の運動時間」については、全国より多い男子に比べて、女子は、全国平均の半分ほどでした。また、「体育の授業は楽しいか」の質問に「楽しい」「やや楽しい」と回答した児童の割合が男子は全国より多く、女子は全国より少ないということがわかりました。

本校としましては、これらの結果を受け、「さらなる体育科の授業改善」「児童会活動と連携した体力向上の取組」「休み時間等の体を使った遊びの推進」等を組織的に進めてまいります。5年生だけではなく、全学年で全種目の新体力テストの実施を通して児童一人一人の成長を大切にし、運動への関心意欲を高める工夫を進めるなど、保護者や地域と連携・協働しながら、バランスのとれた体力の向上を目指していきます。



※T 得点…全国平均値を50と見た場合における実施校の点数